

日本地域看護学会学術集会10年のあゆみ

開催年・場所・学術集会長	準備会(1997年) パシフィコ横浜 設立発起人代表 金川克子	第1回(1998年) 東京大学看護学部 金川克子(東京大学大学院医学系研究科)	第2回(1999年) 山梨医科大学看護学部 平山朝子(千葉大学看護学部)	第3回(2000年) 全共連ビル・都市センターホテル 島内 蘭(東京医科歯科大学医学部)	第4回(2001年) 広島大学医学部 小西美智子(広島大学医学部)
会長講演		地域看護学のストラテジー	地域看護学の発展と教育の役割	在宅ケアにおける研究と実践の発展	地域看護活動における保健指導の実証的研究
プログラム	【ミニシンポジウム】 本学会のめざすもの - 現状と今後の課題 	【シンポジウム】 実践活動の向上と体系化を促す地域看護学研究のあり方	【ミニシンポジウム】 ・地域看護における臨地実習指導の方法 ・保健婦(士)の行う地域づくりの方法 ・地域を基盤にした看護活動における連携の方法 ・在宅サービスにおける行政保健婦(士)の役割 ・保健婦(士)の実施した保健福祉事業の評価 ・ケアマネジメントに関わる看護職の力量形成と地域の基盤整備	【国際交流・教育講演】 カナダにおける地域看護実践へのヘルスプロモーションの概念と研究の応用 	【ミニシンポジウム】 ・介護保険と看護の役割 ・住民への健康支援 ・小中学生の健康問題 ・在宅ケアの展開 ・地域看護学実習の方法 
法律・制度等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健法全面施行 ・臓器移植法施行 ・健康保険法等の改正：本人8割給付、外来薬剤に対する一部負担の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症法施行 ・NPO法制定 ・国民健康保険法等の改正：退職者の老人医療費拠出金負担の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉法改正 ・地方分権一括法成立 ・新エンゼルプラン策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険法施行 ・社会福祉法成立 ・健康日本21策定/健やか親子21策定 ・ゴールドプラン21策定 	保健師助産師看護師法において障害者等に係る欠落事項の適正化等を図る
日本の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税5%スタート ・「ポケモン」「たまごっち」が大流行 ・香港で鳥インフルエンザによる死者発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・長野冬季オリンピック開催 ・和歌山毒入りカレー事件 ・仏でワールドカップ開催、日本初出場 	<ul style="list-style-type: none"> ・脳死判定/生体臓器摘出 ・東海村の民間核燃料施設で臨界事故 ・地域振興券を交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・有珠山、三宅島噴火 ・沖縄サミット開催 ・市町村の平成の大合併開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央省庁、1府21省庁から1府12省庁へ再編 ・内親王ご誕生、敬宮愛子さまと命名
第5回(2002年) 高知県立県民文化ホール 松本女里(高知女子大学看護学部)	第6回(2003年) パシフィコ横浜 河野啓子(東海大学健康科学部)	第7回(2004年) 大阪大学コンベンションセンター 早川和生(大阪大学大学院医学研究科)	第8回(2005年) 日本赤十字豊田看護大学 理事長 小西美智子	第9回(2006年) 国立保健医療科学院 平野かよ子(国立保健医療科学院)	第10回(2007年) 神奈川県立保健福祉大学 別所遊子(神奈川県立保健福祉大学)
住民とともに歩む保健活動と今後の地域看護の課題	働く人びとへの健康支援とその課題	地域看護学の理論的基盤 - グローバリズム VS ローカリズム -		これまでの保健師の活動とこれからの役割	地域看護活動の拠りどころ - 活動成果の体系化 -
【シンポジウム】 住民とともに創造する地域看護活動 - 住民の力が地域を変えていく - 【国際セミナー】 COMMUNITY HEALTH NURSING EDUCATION IN THE FUTURE	【シンポジウム】 世代をつなぐ地域看護活動 	【教育講演】 ・保健師活動の歴史 - 保健所と保健師発祥の地大阪を語る - ・地域における感染症をめぐる動向	【理事会セミナー】 災害発生時に求められる保健師活動と役割：2004年新潟中越地震を例にして 注)国際地域看護学会協力のため、理事会主催とした	【教育講演】 地域の人々の繋がりと力 【市民公開講座】 地域デビューで輝こう！ - 地域に生き地域を育む市民活動のあり方 -	【国際交流】 タイの地域看護におけるヘルスプロモーション 【10周年記念事業】 ・地域看護の革新 - これからの学会の役割 - 【シンポジウム】 ・地域看護職がめざすパートナーシップ ・現状と課題 - 
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者基本計画 ・少子化対策プラスワン発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進法施行 ・社会福祉法施行 ・新障害者プラン策定 ・支援費制度実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法改正 ・第3次対がん10ヵ年総合戦略 	<ul style="list-style-type: none"> ・心神喪失者等医療観察法施行 ・児童虐待の防止等に関する法律施行 ・発達障害者支援法施行 ・健康フロンティア戦略開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法施行 ・良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律成立 	
<ul style="list-style-type: none"> ・第17回ワールドカップ 日本・韓国合同開催 ・住民基本台帳ネットワークスタート ・ノーベル賞で日本初のダブル受賞 ・中国広東省 SARS発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本郵政公社発足 ・自衛隊の派遣を可能にするイラク復興支援法案が衆院で可決 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路公団民営化法が成立 ・浅間山が噴火 ・新紙幣流通開始 ・新潟県中越地震 	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの定義と診断基準の提示 ・愛知万博開幕 ・個人情報保護法が全面施行 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上波デジタル放送の「ワンセグ」が開始 ・日本の高齢(65歳以上)人口率が世界最高 ・気象庁、今冬の豪雪を「2006年豪雪」と正式に命名 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県にて鳥インフルエンザ発生 ・統一地方選挙 ・石川県で能登半島地震 ・新潟県で中越沖地震

日本地域看護学会の組織と活動

1. 組織

【学会理事長】
1997～2003.3 金川 克子
石川県立看護大学教授



2003.4～ 小西 美智子
日本赤十字豊田看護大学教授



【組織】

総会
理事会
監事
評議員
各委員会

【活動内容】

- ・総会：年1回開催
- ・理事会：年4回開催
- ・評議員会：年1回開催
- ・学術集会：年1回開催
- ・日本地域看護学会誌の発行
- ・各委員会活動
- ・日本看護学会協議会の会員としての活動
- ・看護系学会等社会保険連合の会員として活動

【各委員会の活動】

編集委員会

- ・年2回 地域看護学会誌発行
- ・投稿規程の改定、査読委員の選任と委嘱
- ・「査読ガイドライン」と「投稿論文作成チェックリスト」の作成
- ・論文の種類別判定基準の確認と査読委員の増員・委嘱を実施

研究活動推進委員会

- ・「大学と実践現場との協働」を活動の方針とし、実施
- ・研究者と実践者との協働による取り組みの実態調査を実施し報告
- ・保健指導に関する文献レビュー

広報委員会

- ・入会案内のパンフレット「日本地域看護学会のご案内」を作成し配布
- ・ホームページの作成とメンテナンス、内容……会則、ニュースレター、学会誌投稿規程、学術集会の案内等

教育委員会

- ・大学教育が直面している教育の課題を検討し、学会の立場から必要な取り組みを実施
- ・保健師に求められる実践能力、卒後研修について検討

国際交流推進委員会

- ・年1回 News Letter発行
- ・第3回国際地域看護学会に協力、国際交流の推進について活動を実施
- ・第10回学術集会でカンターヌクポート博士の教育講演会を開催
- ・第1回日韓合同地域看護学会開催予定

日本学術会議対策委員会

- ・日本学術会議、日本看護系大学協議会の一員として活動

「看保連」対策委員会

- ・平成18年度学会員に対して、看護技術の診療・介護報酬化に関するアンケートを実施。その結果と、訪問看護ステーションへの重症度加算についてのアンケート結果をまとめ、看保連の会議に提出

2. 会員の動向

図1 会員推移

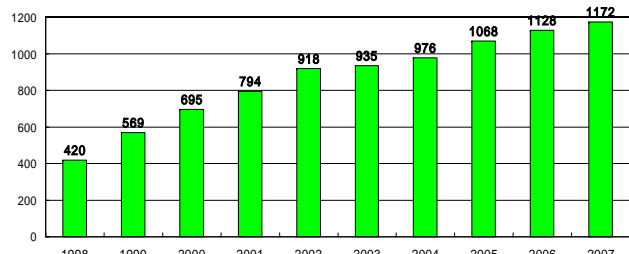


図2 所属別会員内訳 (n=1172)

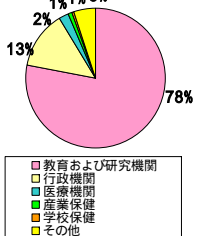


図3 年代別会員内訳 (n=1172)

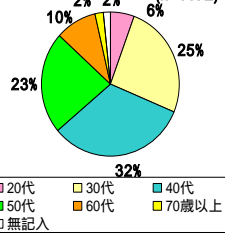
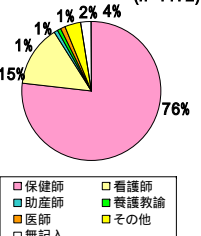


図4 職種別会員内訳 (n=1172)



3. 会員アンケート (実施 2007.6)

図5 学会から発信してほしい情報 (n=225)

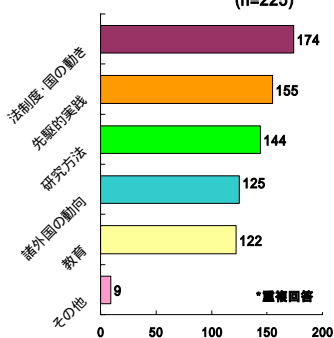


図6 学会の研究活動推進についての要望 (n=225)

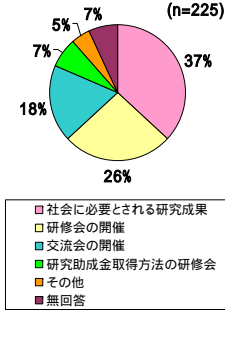
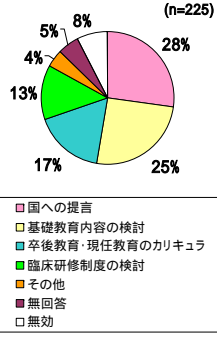


図7 学会の教育活動の推進についての要望 (n=225)



4. 日本地域看護学会入会手続きのご案内

入会希望者は、下記要領にしたがってご記入のうえ、入会申込書を日本地域看護学会 会員管理業務担当 までにお送り下さい。

()入会申込書の記入要領

1. 申込書のデータはすべてコンピュータに入力しますので、楷書ではっきりとご記入下さい。申込者ご本人と推薦者の捺印が必要です。
2. 所属機関の名称は、原則として大学の場合、学部・学科まで、その他の場合には部・課までを記入して下さい。
3. 学歴は最終卒業学校名、卒業年(西暦)を記入して下さい。修士・博士課程在学中の方は研究科・課程までを記入して下さい。
4. 『就業の主な資格』ならびに『専門研究領域』についてはそれぞれ1つをつけて下さい。
5. 本会の会計年度は、4月～3月です。入会年度を所定の欄に必ず記入して下さい。
6. 原則として正会員1名の推薦(署名および捺印)が必要です。お近くに会員がおられない場合には、その旨の文章を同封のうえ申込書をお送り下さい。
7. 『地域看護に関連する実践活動や研究の課題』の欄には、実践活動で関心のあること・取り組んでいること、現在進めている研究課題、これまでの業績などの中から1つ以上を必ず記入して下さい。
8. 押印漏れ、記入漏れなどがある入会申込書は、確認作業を行うため、入会手続きが遅れる場合があります。郵送される前に、内容をもう一度ご確認ください。
9. 学生で入会できるのは大学院生です。

()会費

入会費5,000円、正会員会費10,000円

()会員承認

申込者は日本地域看護学会事務局で仮登録され、理事会の承認を待ちます。会員承認通知を受け取りましたら、会費を納入してください。その後、会員番号を連絡いたします。正式入会までおよそ1～2ヶ月程を要しますが、ご了承の程お願いいたします。

附則)本規定は、平成18年9月24日から施行する。

日本地域看護学会 会員管理業務担当
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区中島 5-1-15
セントラルタワー8F(株)コネット
TEL:06-4806-5656 FAX:06-4806-5658
E-mail:ckango@conet-cap.jp

日本地域看護学会の学術活動

1. 国際地域看護学会

ORGANIZATION OF THE 3RD INTERNATIONAL CONFERENCE ON COMMUNITY HEALTH NURSING RESEARCH

【国際地域看護学会第3回学術集会】

開催日時：2005年9月30日 - 10月2日 September 30 to October 2, 2005
 開催場所：都市センターホール Toshi Center Hotel in Tokyo
 会長：島内節 (東京医科歯科大学) Setsu, Shimanouchi (Tokyo Medical and Dental University)
 メインテーマ：「地域看護における新しいチャレンジと革新」
 "NEW CHALLENGES AND INNOVATIONS IN COMMUNITY HEALTH NURSING"

プログラム：
 基調講演 (keynote)

開会式では、Sally Kendall氏 (国際地域看護学会理事、英国ハートフォードシア大学)、Shirley Stinson氏 (カナダ・アルバータ大学)、小西 美智子氏 (日本地域看護学会理事長、日本赤十字看護大) の3氏が壇上に立ち、国際地域看護学の発展に向けたメッセージを語った。



会長講演 (Chairperson)



島内会長が会長講演でアウトカム評価の重要性を強調した。エビデンスに基づく実践のために、アウトカムと経済効率に関する研究が「最大のチャレンジ」であると位置づけ、講演を閉じた。



シンポジウム (Symposium)

口演 (Oral)

示説 (Poster)



ワークショップ (Workshop)
 ネットワークの機会 (フリー会議) (Network Opportunity (Free Meeting))

委員	Committee members	15 (日本人 12人, 外国人 3人)
副委員	Sub-Committee members	38 (日本人 26人, 外国人 12人)
参加者	Participants	575 (日本人 401人, 外国人 174人, 22カ国)
発表	Presentation	総計 293

ご案内 第1回 日本地域看護学会共同学術集会のお知らせ

日時：2007年11月23日(金) 9:00 - 17:20 <キーノートスピーチ・発表>
 2007年11月22日(木) 午後 <施設見学>
 場所：ソウルウィメンズプラザ(ソウル市)
 抄録締め切り：2007年8月31日(金) 抄録採用通知：9月15日(土)
 参加登録期間：2007年8月15日(水)～9月30日(日)

2. 学会発表の内容分析および学会誌の投稿分析

【学会発表の内容分析】

図8 学術集会発表数 (n=1210)

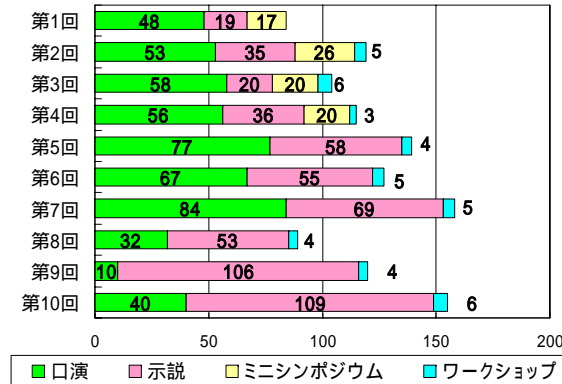
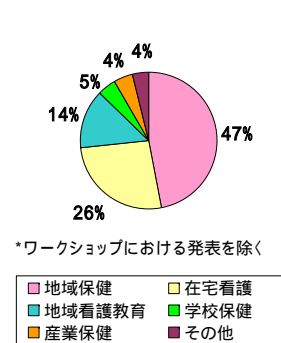


図9 学術集会の発表内容 (n=1168)



【学会誌の投稿分析 (第1巻～第9巻2号)】

図10 論文の種類 (n=177)

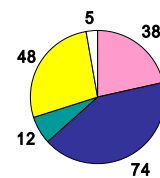


図11 論文の内容 (n=177)

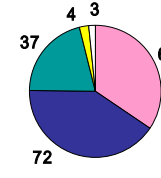


図12 論文の分野 (n=177)

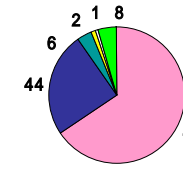


図13 研究方法の種類 (n=177)

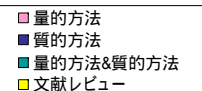
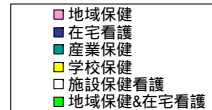
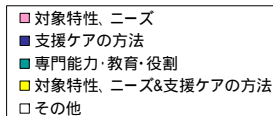
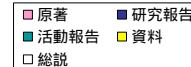
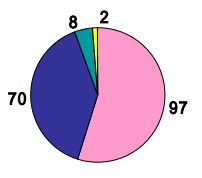


図8-図13 データ作成責任：別所遊子 神奈川県立保健福祉大学 (第10回日本地域看護学会学術集会会長)